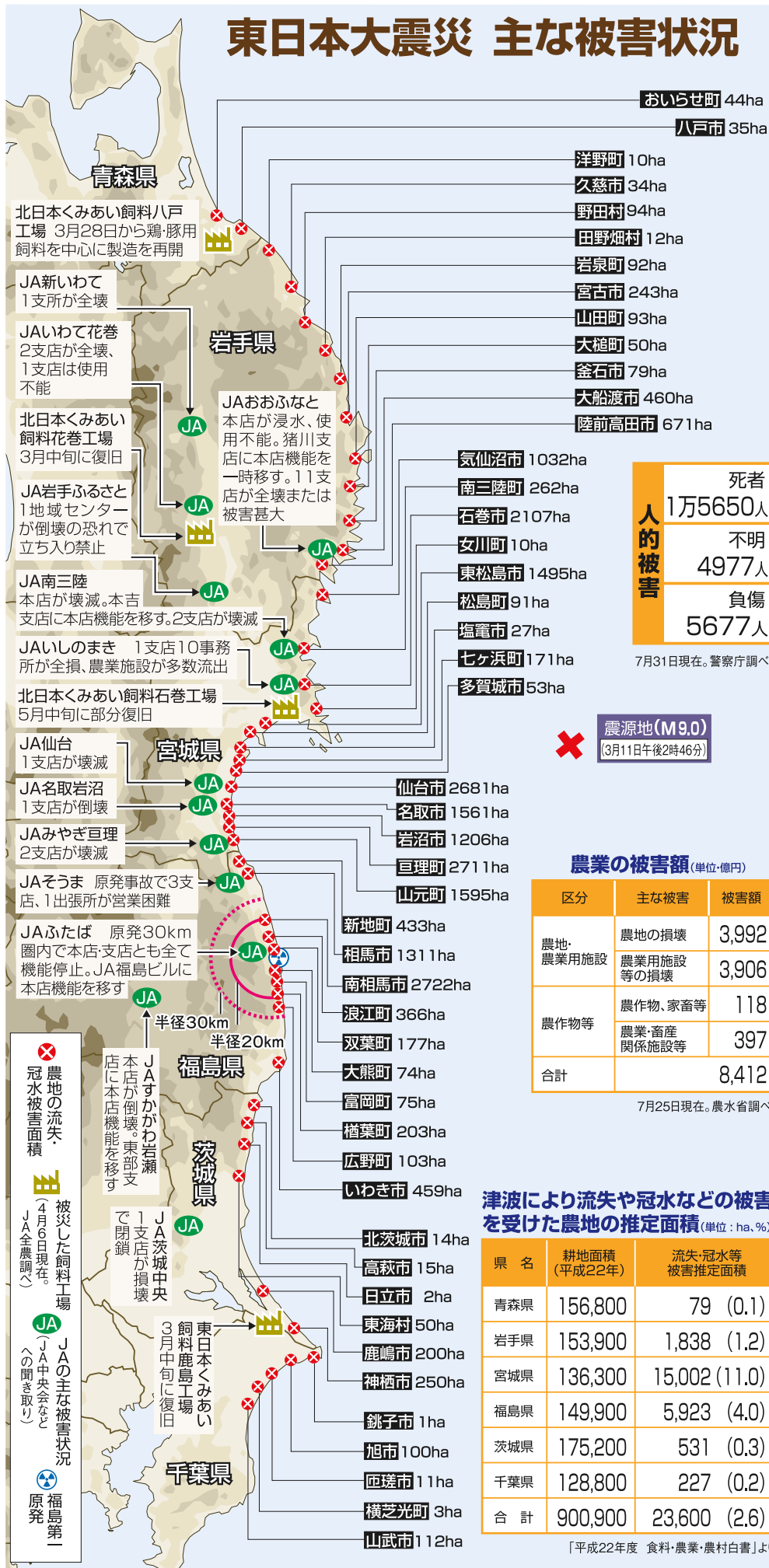


東日本大震災 主な被害状況



人的被害

死者	1万5650人
不明	4977人
負傷	5677人

7月31日現在。警察庁調べ

農業の被害額 (単位: 億円)

区分	主な被害	被害額
農地・農業用施設	農地の損壊	3,992
	農業用施設等の損壊	3,906
農作物等	農作物、家畜等	118
	農業・畜産関係施設等	397
合計		8,412

7月25日現在。農水省調べ

津波により流失や冠水などの被害を受けた農地の推定面積 (単位: ha, %)

県名	耕地面積 (平成22年)	流失・冠水等被害推定面積
青森県	156,800	79 (0.1)
岩手県	153,900	1,838 (1.2)
宮城県	136,300	15,002 (11.0)
福島県	149,900	5,923 (4.0)
茨城県	175,200	531 (0.3)
千葉県	128,800	227 (0.2)
合計	900,900	23,600 (2.6)

〔平成22年度 食料・農業・農村白書〕より

東電原発事故

平成23年3月11日14時46分、三陸沖の海底を震源として、わが国の観測史上最大のマグニチュード9.0を記録した東北地方太平洋沖地震が発生しました。この地震により大津波が岩手、宮城、福島を中心とする東北から関東地方の太平洋沿岸部を襲い、壊

滅的な被害を与えました。死者・行方不明者は2万人以上、建築物の全壊・半壊は23万戸以上、被害額は16兆9000億円に上ります。農林水産業の被害額は2兆2677億円と甚大で、JAも本支店・事業所の全壊、職員の死亡など被害が出ました。さらに、東

京電力福島第一原子力発電所で炉心溶融と水素爆発という最悪の原発事故が発生。周辺住民が長期の避難を強いられるとともに、農畜産物の出荷制限や風評被害、土壌の放射能汚染など農業に深刻な被害が及び、苦難は今もなお続いています。